

寒冷地に適したキク類の 省力，低コスト生産体系の確立

園芸栽培部 花きチーム TEL:022-383-8132

研究の目的

近年，キク産地では，原油高騰に伴う暖房費，電気代等の増加による生産コストの上昇が問題となっています。そこで，キク類について，省力・低コスト生産可能な新品種を検索するとともに，新電照用光源や植物成長調整剤等を利用した低コスト生産技術を開発します。

研究成果

現在，以下のことに取り組んでいます。

新品種の検索

輪ギクでは，無側枝性，低温開花性等，省力・低コスト可能と考えられる新品種あるいは系統について，露地栽培においてはエテホン（開花抑制剤）反応特性を，施設栽培においては電照や温度反応特性を調べ，適品種を選抜します。さらに，寒冷地に有利な作型開発を行います。

スプレーギクでは，当県で育成した「オータムプリンセス」と「ロゼページェント」について，温度反応，栄養生長期間と切り花品質の関係等詳細な特性を調べています。

低コスト生産技術の確立

輪ギクとスプレーギクに，新電照用光源の電球形蛍光灯やLEDを照射し，暗期中断時間別に開花制御可能な光量の下限值を推定し，効率的照射方法を明らかにします。さらに，ジベレリン等植物成長調節剤を用いた効果的な使用法を検討しています。



露地栽培におけるエテホン反応



夏秋ギク型新品種
「金の香」

普及等の見込

全国に先がけてキク新品種の栽培や販売が可能となることに加え，暖地では生産が難しい時期に高品質生産が可能となり，有利販売ができます。また，低コスト生産技術は，大規模施設生産者への普及が見込めます。

宮城県
農業・園芸総合研究所

宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地

TEL：022-383-8111(代表) FAX：022-383-9907(代表)

ホームページ：http://www.pref.miyagi.jp/res_center/

E-mail：marc-fk@pref.miyagi.jp(代表)